SmaThro X

SMART THRO-CON

INSTALLATION MANUAL

BLITZ

安全上のご注意

この取扱説明書は、 お客様が本製品を安全に、 正しく組み立て、 取り付けし使用していただくために、 取り付け前に必ずお読みください。また、本製品をご使用している期間は、この取扱説明書を大切に保管し、 売却、 譲渡の際は、 本製品に添付してお渡しください。 品質には万全を期しておりますが、 誤った取り付けや使用方法によって受けられた損害や、 改造、 加工などを行った製品を使用して受けられた損害については、 弊社はその一切の責任を負うことができませんので予めご了承ください。

※ 本製品および付属品は、 改良のため予告なく変更することがあります。

表示項目の説明（シグナルワードとその意味）

⚠ 警告	この表示を無視して、 誤った取り扱い・作業を行うと、 本人または第三者が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険な状況を示します。
⚠ 注意	この表示を無視して、 誤った取り扱い・作業を行うと、 本人または第三者が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定され、 また物質損害の発生が想定される状況を示します。

⚠ 警告	この表示を無視して、 誤った取り扱い・作業を行うと、 本人または第三者が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険な状況を示します。

- 本製品は、 DC12V 車で車体（ボディ）アースの車両専用です。
  DC24V または 12V・24V 兼用車に使用しないでください。 火災の原因となります。
- コネクターを外す場合、 電線部分を引っ張らず、 必ずコネクター部分を持って取り外してください。
  また、 ハーネスにヒューズを取り付けたり、 車体絶縁部や他の電装品と接触するような配線を取らないようにしてください。
- 本製品の取付け時に、 車両ハーネスや配管類を傷つけないよう注意してください。
  ショートなどによる火災、 電装部品・エンジン・車両の破損の原因となります。
  使用しない配線などは、 絶縁テープを巻くなどして、 必ず絶縁対策を行ってください。
- 製品の取り付けに関しては必ず専門の業者にて行うようお願いします。
  ご自身で取付けを行う場合は必ず専門知識並びに車両知識のある方のもとで行い、 慎重に作業をしてください。
- 本製品に異音・異臭などの異常が生じた場合には、 製品の使用をすみやかに中止し、
  販売店または弊社までお問い合わせください。
  そのまま使用すると、 感電や火災、 電装部品の破損の原因となります。
- 本製品の加工・分解・改造などは一切行わないでください。
  火災・感電・電装部品の破損、 焼損の原因となります。
  加工・分解・改造等の形跡が見られる場合、 クレーム・修理の対象外とし、 車両および電装品の故障や事故が発生した場合でも、 弊社では一切の責任を負うことができませんのでご了承ください。
- 高温になる場所や水が直接かかる場所には本製品を取り付けないでください。
  感電・火災・電装部品の破損、 焼損の原因となります。
- 本製品および配線類・付属品はしっかりと固定し、 視界や運転の妨げになる場所、 不安定な場所に取付けないでください。 運転に支障をきたし、 事故の原因になります。
- 運転者は走行中に本製品の操作を行わないでください。 事故の原因となる恐れがあり大変危険です。
- 本製品は車両純正の電子スロットルの制御を目的に製作されていますので、 配線の接続方法ならびに使用方法を誤ると車両の不調や故障・破損・事故といった問題が発生する恐れがあります。
  製品の取り付けに関しては必ず専門の業者にて行い、 ご使用前には必ず本書をお読みになって、 正しくお使いください。

安全上のご注意

⚠注意	この表示を無視して、 誤った取り扱い・作業を行うと、 本人または第三者が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定され、 また物質損害の発生が想定される状況を示します。

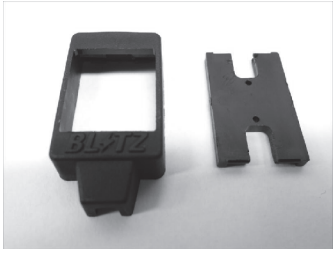
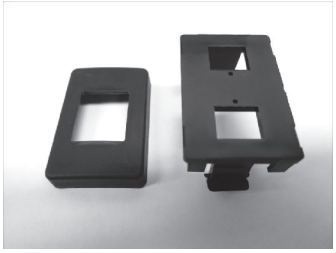
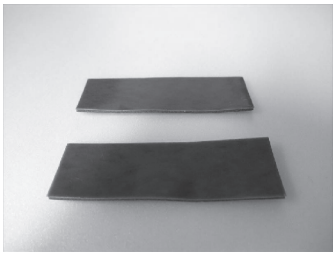
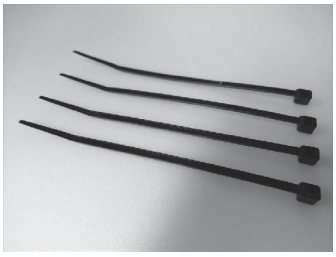
- 本製品は電子部品を使用した精密機器のため、 衝撃を与えたり、 装着時に無理な力を加えないでください。 動作不良を起こし、 製品の故障や車両を破損する恐れがあります。
- 本製品を長時間高温になる場所に放置しないでください。 60℃以上の高温に長時間さらしたり、急激な温度差の環境でのご使用では内部回路が破壊されることがあります。
- 定期的に点検を実施し、 十分に注意してご使用ください。
  この製品は耐久性を考慮して、 厳選された材料を使用し、 厳重な社内品質管理のもとに製造されていますが、 車両の使用条件や環境などにより、 耐久性が落ちることがあります。
- 装着車両に、 本製品以外に本製品同様のシステムを搭載した製品との併用を行った場合には、本製品の故障や車両の不具合が発生する可能性がございます。
  この場合、 弊社では責任を負いかねますので、 予めご了承ください。
- 本製品は純正 ECU の車両を前提に企画しております。
  純正以外の ECU を取り付けている場合や ECU の書き換えを行っている場合には、 正常に動作しなかったり、 本製品および車両に不具合が発生する可能性があります。
- 取り付け作業のために一時的に取り外す純正部品は、 破損・紛失しないように大切に保管してください。 弊社は取り付け作業による物的損害の責任を負うことはできませんので、 慎重に作業を行ってください。
- ボルト・ナット類は、 適切な工具で確実に締め付けてください。 必要以上に締め付けを行うと、ボルトのネジ部が破損しますのでご注意ください。
- エンジンルーム内の作業を行う際は、 エンジンの温度が十分に下がってから作業を行ってください。
  エンジン本体、 ラジエーター、 排気関係の部品は高温になり、 火傷の恐れがあります。
- 本製品を取り付けたことにより各装置の認識に使用されるレーダーやカメラ、 センサー等の認識範囲がノーマル状態と異なり、 車両の安全装置などが誤作動を起こす可能性も考えられます。
  各自動車メーカーの安全装置・衝突回避支援装置・運転支援装置装着車など誤作動の発生やそれに伴う事故などの損害について弊社はその責任を負うことができませんので、 ご了承ください。
- オートブレーキホールド搭載車は車両の個体差により意図せずブレーキホールド機能が解除される可能性があります。 その場合、 スロットルコントローラーとブレーキホールド機能を併用しないでください。
- 製品仕様向上のため、 本製品は予告なく仕様変更を行う場合があります。 あらかじめご了承ください。

□ 必ずお読みになり、 よくご理解ください。

- 本製品は純正の電子制御スロットルの信号を制御し、 実際に運転者がアクセルを踏み込んだ以上にスロットルを開けることで、 体感的な加速感やスタートダッシュの軽快感などが得られますが、 実際の最大出力が向上するものではありません。 また、 体感的な部分には個人差があり、 車種によっても制御方法の違いや個体差があるため体感しづらい場合もございます。
  予めご了承ください。
- 本製品の機能は本製品の概要をご理解いただいていない、 ご本人様以外の方が本製品を装着した車両を運転する場合、 非常に危険です。 ご本人様以外の方が運転する場合は必ず OFF またはノーマル状態に戻してください。

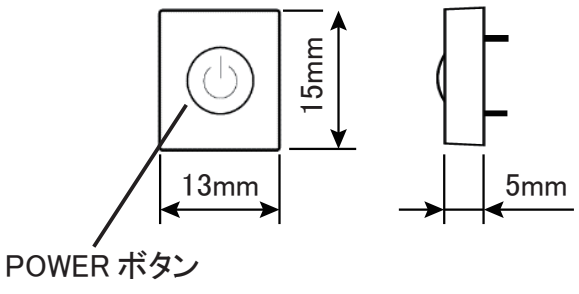
パーツリスト

装着前に必ず不足品がないかご確認ください。

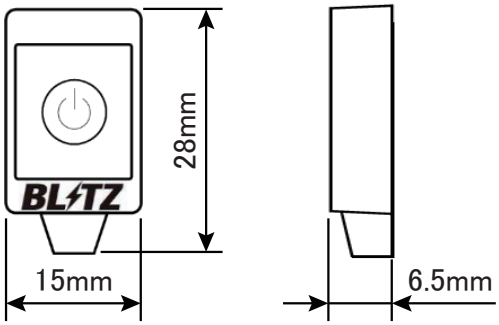
			
コンパクトスイッチ × 1	スイッチアダプター スイッチアダプター（カバー） × 各 1（両面テープ付）	サービスパネル（カバー） サービスパネル（ベース） × 各 1 ※	本体ユニット × 1
			
専用アクセルハーネス ×1	「Sma Thro」ロゴシール × 1	両面テープ大 × 2	タイラップ × 4
取扱説明書・保証書 × 1			

※ サービスパネルは一部品番のみに同梱されています。
同梱品番でも形状違いや車両側の空きパネルの有無により
装着できない場合がありますので、ご了承ください。
詳しくは本製品の適合表を参照してください。

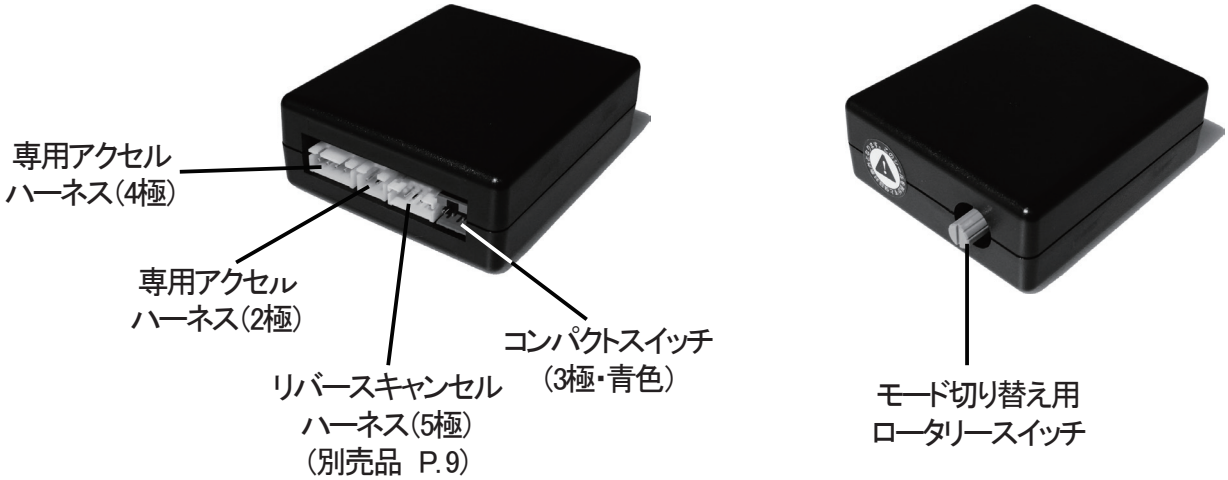
コンパクトスイッチ



スイッチアダプター



本体ユニット



取り付け手順と注意事項

⚠ 作業前に必ずお読みください ⚠

⚠ 取り付け作業は基本的にバッテリーを外さずに行ってください。 バッテリーを外した場合、アイドリングやスロットルの学習が必要になる場合があり、 使用過程中に本製品の初期学習値と車両の学習値にズレが生じ、 警告灯の点灯などの原因となります。

[1] スイッチの組み立て

◆ コンパクトスイッチアダプター

① コンパクトスイッチの裏面にある 2 つの突起（図 1）を、スイッチアダプター（カバー）の中央部の 2 つの穴に挿し込み（図 2）、 位置合わせしてください（図 3）。

※ スイッチアダプター（カバー）の 5 つの丸印がある面が裏面になります（図 2）。 丸印のない面にコンパクトスイッチを固定してください。 表裏を間違えると正確にスイッチを組み立てられませんので、 ご注意ください。

※ 固定には、 両面テープは使用しません。 付属の両面テープはスイッチを車両側に固定する際に使用します。

② スイッチアダプターを被せて、「パチッ」と言うまでしっかりはめ込んで下さい（図 4）。
この際にコンパクトスイッチの配線を挟み込まないように注意してください。
コンパクトスイッチの配線は大変細くなっています。 切断しないように注意してください。

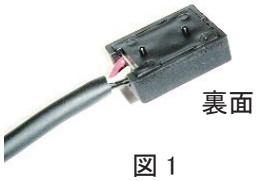


図 1

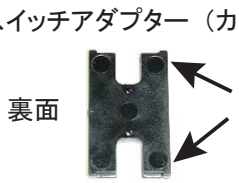


図 2

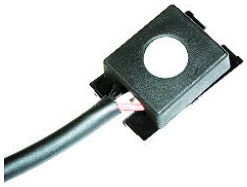


図 3

図 4

◆ サービスパネルアダプター（使用する場合のみ）

以下の組み立て説明では【トヨタ TYPE-1】の図を使用していますが、 5 種類とも組み立て方法は同じです。

① サービスパネル（ベース・カバー）の裏にそれぞれ【T】（トヨタの場合）、【N】（ニッサンの場合）、【H】（ホンダの場合）の刻印があることを確認してください。

② コンパクトスイッチのサービスパネル（ベース）にある四角穴からコネクタを通し、
コンパクトスイッチの裏にある 2 つの突起（図 1）を、 サービスパネル（ベース）の中央部の
2 つの穴（図 2）に挿し込み、 位置合わせしてください（図 3）。

※ サービスパネル（ベース・カバー）に上下左右はありません。

※ 固定に両面テープは使用しません。 付属の両面テープはコンパクトスイッチを単体で車両側に固定する際に使用します。

③ サービスパネル（カバー）を被せて、「パチッ」と言うまでしっかりはめ込んで下さい。
コンパクトスイッチの配線は大変細くなっています。 切断しないように注意してください。

※【トヨタ TYPE-2】【ニッサン TYPE-2】はコンパクトスイッチとサービスパネルの表面に一部段差が生じます。

※【ニッサン TYPE-2】サービスパネルを車両に装着すると、 スイッチマークは横向きになります。

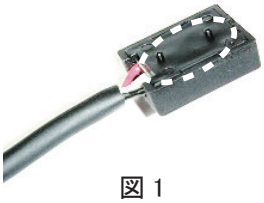


図 1

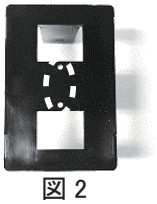
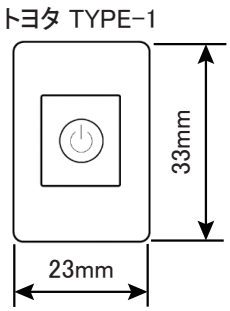
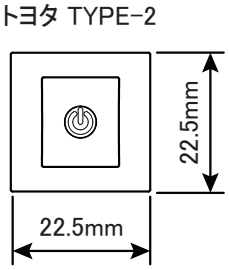


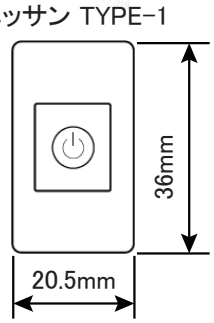
図 2

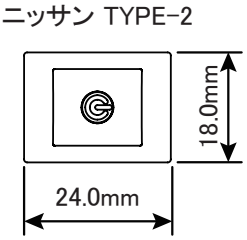
図 3

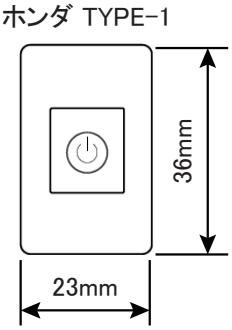
図 4











[2] アクセルハーネスの接続

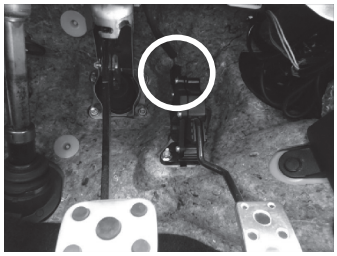
⚠ 取り付け前に必ずお読みください ⚠

車両のエンジンを停止しても、しばらくはセンサーに電源供給されたままの車両があります。
その状態でアクセルポジションセンサーのコネクターを抜くと警告灯が点灯するため、
車両側のアクセルポジションセンサーのコネクターを抜く前に、 下記手順を実施してください。

① IG-OFF にする。
② スマートキーを車両から 10m 以上離す。（スマートキー装備車のみ）
③ 運転席のドアを開けた状態で、【 15 分 】以上待つ。

※ ③の時に他のドアの開閉や車両のスイッチの操作、ブレーキペダルなどを踏んでしまうと、
車両側センサーに再び電源が供給されてしまいます。 この場合は再度 15 分待ってください。

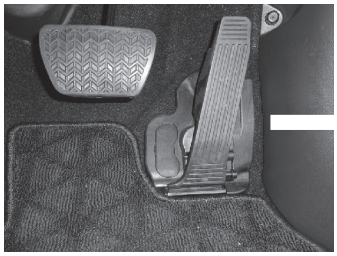
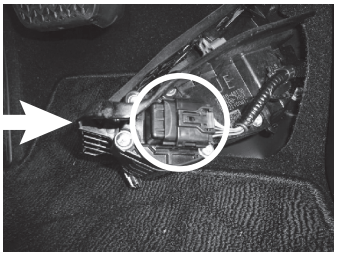
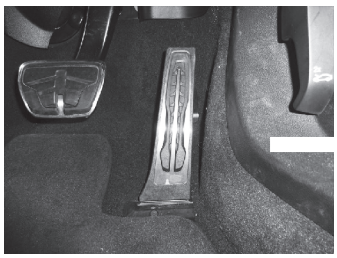
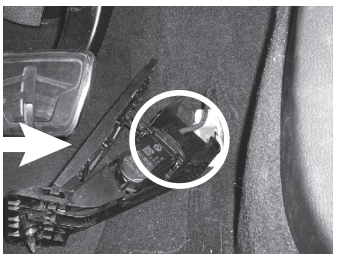
◆ アクセルポジションセンサー　吊り下げタイプ（一例）



吊り下げタイプのアクセルペダルは、ペダルの根元付近にアクセルポジションセンサーのコネクターがあります。

※ アンダーカバーやその他ユニットで隠れている場合があります。

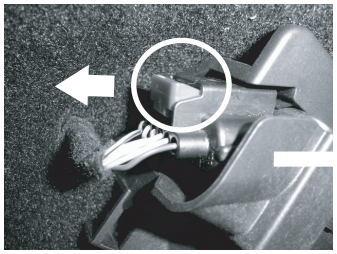
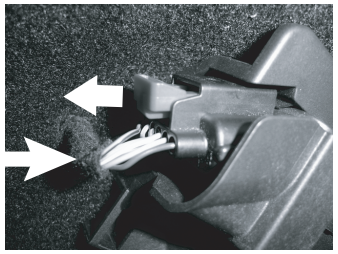
◆ アクセルポジションセンサー　オルガンタイプ（一例）

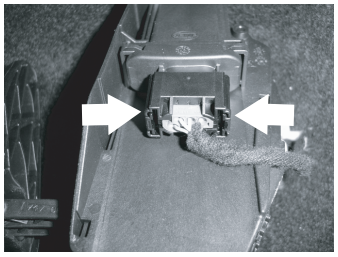
オルガンタイプのアクセルペダルは、ペダルユニット裏にアクセルポジションセンサーのコネクターがある場合が多く、アクセルペダルASSYの取り外しが必要となります。

※ アクセルペダルASSYを取り外す際に、アクセルペダルを押し込んでしまうとセンサーに電源が供給され、すぐにコネクターを抜くと警告灯が点灯する場合があります。注意して作業を行ってください。

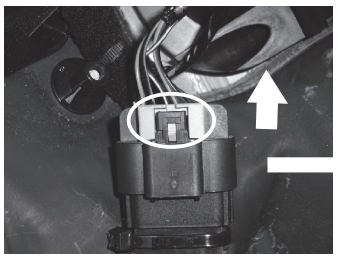
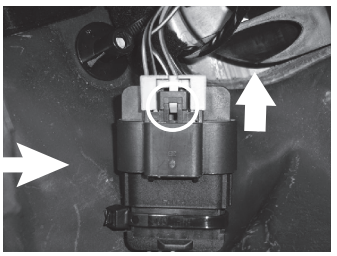
◆ 特殊形状のアクセルポジションセンサーコネクター（一例）

・ VW、Audi系
ツメを引き上げてから押し、コネクターを引き抜く



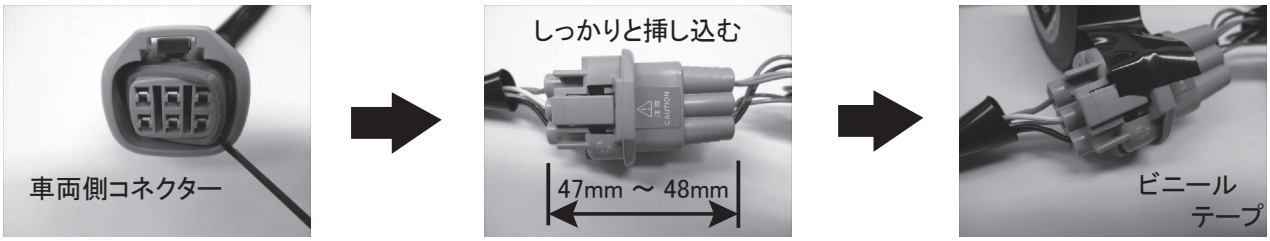
・ BMW系
コネクター両側のツメを内側に押してコネクターを引き抜く

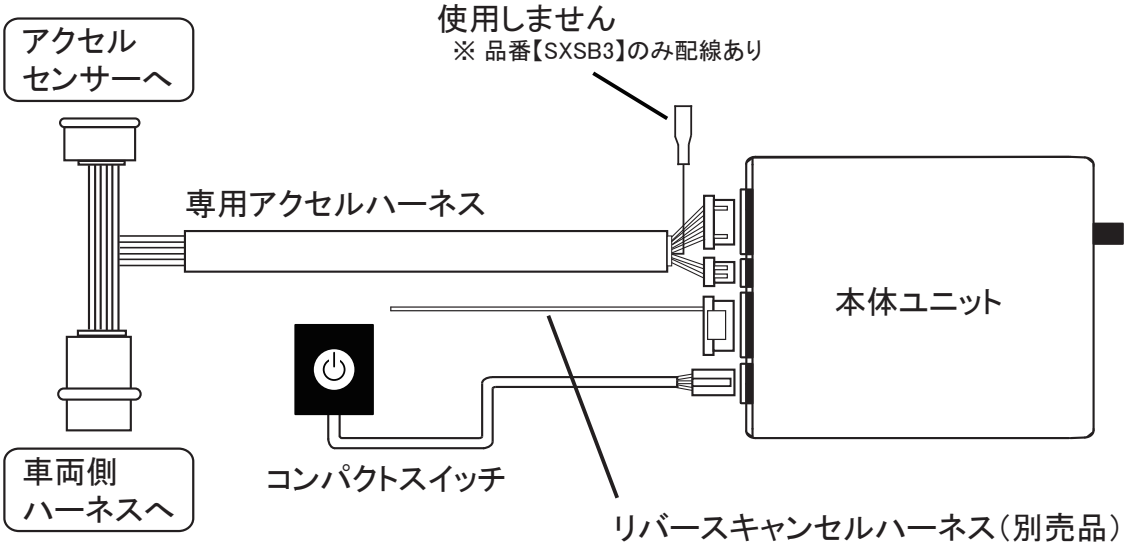
・ ABARTH
ロックレバーを引き上げ、中央部の爪を押してコネクターを引き抜く

⚠ 品番【SXSA1】のアクセルハーネス取り付け手順 ⚠

- 車両ハーネス側コネクターの防水ゴムを、傷付けないように注意して取り外してください。
- 本製品のアクセルハーネスのコネクターに貼っているCAUTIONステッカーと、車両ハーネス側コネクターのロック部(ツメ)を合わせてコネクターを挿しこんでください。
- 勘合させた状態で全長が47mm～48mmになる位置でビニールテープを巻き、確実に固定してください。



[3] 本体の接続



① 専用アクセルハーネスの 2 極と 4 極コネクターと、 コンパクトスイッチの 3 極コネクター（青色）を本体ユニットに接続してください。

② 運転操作の妨げにならない位置に本体ユニットを固定し、 配線をまとめてください。
※ 本体とハーネス類は水がかからず、 熱やノイズの影響を受けづらい場所に確実に固定してください。
※ 付属の『Sma Thro』ロゴシールはお好みの場所に貼ってください。
※ 品番【SXSB3】の専用アクセルハーネスにはギボシの配線が 1 本あります。
本製品では使用しませんので、ビニールテープなどで絶縁処理を行ってください。

③ リバースキャンセルハーネス接続する場合は、 本体ユニットの 5 極コネクターに接続します。（任意）
※ 接続するとリバースキャンセル機能に使用できます。 詳細は P. 9 を参照してください。
※ リバースキャンセルハーネスを接続しなくても、 リバースキャンセル機能以外の機能は全て使用できます。

④ この時点ではまだエンジンの始動はせず、 必ず初期設定を行ってください。

初期設定

⚠ 取り付け後は必ず初期設定を ⚠

▲ 取り付け作業後、 必ず下記手順に従い本製品の初期設定を行ってください。
初期設定を行わないままエンジンを始動すると、 警告灯が点灯します。

▲ 初期設定は必ず IG-ON の状態で行ってください。 エンジンを始動（システムを ON）すると
警告灯が点灯します。

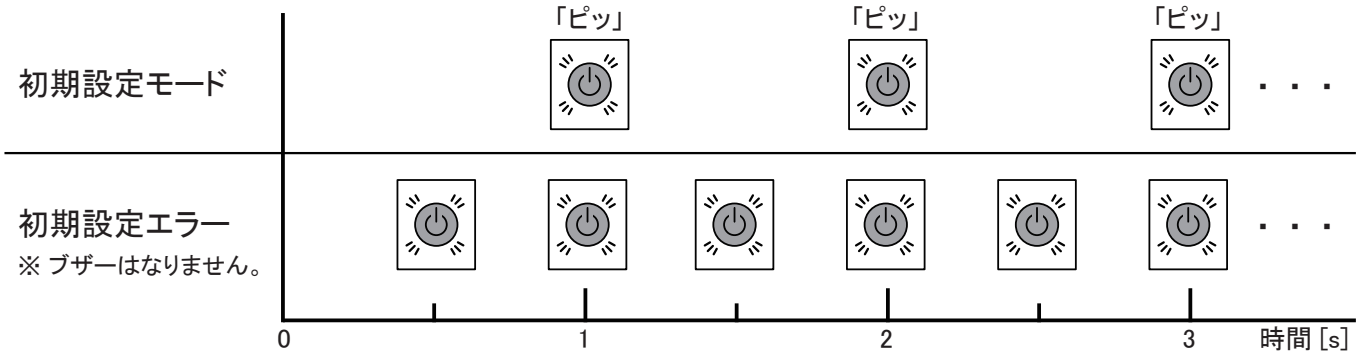
▲ 取り付け車両の変更を行った際にも、 必ず初期設定を行ってください。
車両ごとにアクセルポジションセンサーの信号に違いがあるため、 警告灯が点灯します。

① コンパクトスイッチの POWER ボタンを押し続けた状態で IG-ON にしてください。
1 秒間隔でブザーが鳴り、 連動してコンパクトスイッチの LED【点滅】するまで押し続けてください。
※ 絶対にエンジン始動（システム ON）しないでください。
※ 初期設定はロータリースイッチの設定値がどのモードに設定されていても問題ありません。

② ブザーとコンパクトスイッチの LED が 1 秒間隔の【点滅】に切り替わったら、 スイッチのボタンを離し、
15 秒以内にアクセルペダルの全閉（ペダルを一番奥まで踏み込む）と全開（ペダルから足を離す）を
2 回以上繰り返してください。
※ この操作でスロットルポジションセンサーの 0% と 100% の学習を行います。
踏み込みが甘いと走行中に警告灯が点灯する場合があるので、 確実にしっかりとアクセルペダルを踏み込んでください。
※ キックダウンスイッチ装着車は、 キックダウンスイッチも含めて一番奥までしっかりと踏み込んでください。
※ 初期設定モード中に IG-OFF やエンジン始動（システム ON）は絶対に行わないでください。

③ 正常に初期設定が完了すれば、 コンパクトスイッチの LED が【点滅】から【消灯】に切り替わります。
スイッチを短押しするごとに、 ブザーとスイッチ LED に連動しスマスロ X の ON/OFF が切り替わります。
※ 初期設定モードが終わり、 コンパクトスイッチの LED が【0.5 秒間隔の点滅】に切り替わると、
初期設定に失敗しています。 製品の取り付けが問題ないかを見直し、 再度初期設定をやり直してください。

◎ コンパクトスイッチ点滅の種類



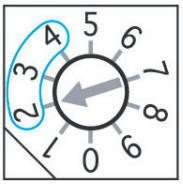
各種モード説明

モードの切り替えは本体ユニット側面のロータリースイッチで行います。

「ECO」モード　(2モード)

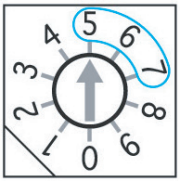
● 純正よりも緩やかな出力曲線を描く、燃費重視のセッティングです。
2モードでエコランを実現します。
ダイヤル【0】が全モードの中で、最もエコな低比率モードとなります。

「MILD」モード　(3モード)



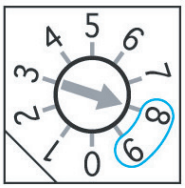
● 段つきのないスムーズな加速を目指した通常走行向きのノーマル+αの
セッティングです。
3種類のモードを用意し、きめ細かいコントロールが選択できます。
ダイヤル【2】が「MILD」モードの中で、もっとも低比率モードとなります。

「SPORT」モード　(3モード)



● アクセルレスポンスの向上に特化した、もっとも過激なモードです。
純正のような緩慢な反応ではなく、入力に対してリニアな加速を実現します。
ダイヤル【7】が全モードの中で、もっとも過激な高比率モードとなります。

「AUTO」モード　(2モード)

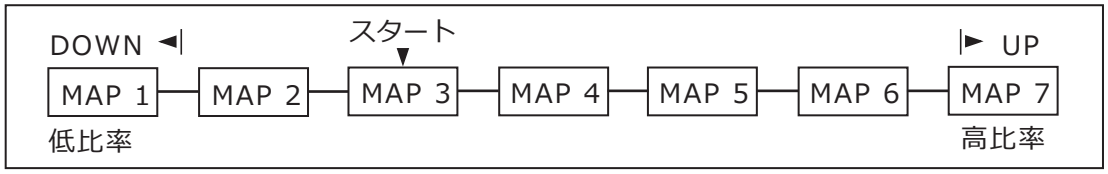


● 走行状態により「MAP1」から「MAP7」の7種類のマップから、自動的に選択します。
渋滞時から高速走行時まで、さまざまなシチュエーションにおいて常に
最適なモードを、この「スマスロX」が自動判別し快適な制御を行います。
アクセルペダルを踏んでいると「MAP7」に向かってマップが切り替わり、
アクセルペダルを離すと「MAP1」に向かってマップが切り替わります。

ダイヤル【8】
「MAP1」に低比率、「MAP7」にはダイヤル【4】と同等の比率が入った「MILD AUTO」モードです。
低速時や後退時の急激な挙動を抑え、快適でスムーズなドライブが可能です。

ダイヤル【9】
「MAP1」に低比率、「MAP7」にはダイヤル【7】と同等の比率が入った「SPORT AUTO」モードです。
車速が乗った状態や、あまりパワーを必要としない領域での無駄なアクセル操作を
抑制することで燃費の向上も望めます。比較的にパワーのある大排気量車に最適です。

＊オートモードイメージ



◆ AUTOモード中はスロットル開度をマイコンで制御しているため、
アクセルペダルの操作により常時比率が変化します。比率が変化するタイミングでコンパクト
スイッチのLEDが点滅し、比率が変化した目印になります。
・比率DOWN方向　⇒　1回点滅
・比率UP方向　⇒　2回点滅

※ AUTOモードの状態でエンジンをかけた場合は、比率は「MAP3」からのスタートとなります。

オプション設定とオプションパーツ

◎ ON/OFF スタート設定

本製品出荷時はセーフティ機能として、 エンジン始動（システム ON）でスマスロ X が必ず OFF 状態からスタートする「OFF スタート状態」に設定されています。
下記手順に従ってスイッチを操作することで、 エンジン始動（システム ON）時からスマスロXをON状態でスタートする「ONスタート状態」に切り替えることが可能です。
エンジン始動（システムON）毎のスイッチ操作が不要になる便利な機能です。

① エンジン始動（システム ON）状態で、 3 秒以内にスイッチを 5 回短押しします。
※ スイッチが消灯状態、 点灯状態のどちらの状態でも可能です。

② ブザー音と共に ON スタート /OFF スタートの設定が切り替わります。
「ピーピー」 ・・・ ON スタートに切り替わった合図
「ピー」 ・・・・・ OFF スタートに切り替わった合図

③ ①～②を繰り返す度に ON/OFF スタートの設定が切り替わります。

④ 車両のエンジンを切り、 スイッチ LED が消え、 スイッチが反応しなくなったことを確認してから、再度エンジンを始動（システムを ON）して、 設定が切り替わっていることを確認してください。

※ 一部の車両にて IG-OFF 後、 15 分以内に再始動させた場合、 OFF スタート設定にしているにもかかわらず ON 状態でスタートする場合があります。 IG-OFF にしても車両のセンサーに電源が供給され続けているためで、 本製品の故障ではありません。

◎ リバースキャンセルモード

別売のリバースキャンセルハーネスを、リバースレンジ、 またはリバースギアに入れたときに +12V を発生する信号線に接続することで、リバースキャンセルモードしようできます。
リバースレンジ、 またはリバースギアに入れると、 強制的に本製品の制御を OFF（ノーマル状態）にすることができる安全機能です。 リバースから戻すことで自動的に元に戻ります。

※ 車両のリバース信号線の位置についてのお問い合わせに関して、 弊社では一切お受けできません。カーディーラーや自動車整備工場にお問い合わせください。

※ リバース時でもコンパクトスイッチの LED は点灯したままになりますが、 アクセルレスポンスはノーマル制御となります。

商品名	コード No.
スマスロ X 用リバースキャンセルハーネス	15520

トラブルシューティング

本製品の使用にあたり、 正常に動作しない場合などは下記項目をチェックしていただき、 症状の確認と不具合の改善を試みてください。
ご確認いただいても症状が改善しない場合は、 販売店・取り付け店にご相談いただくか、
弊社サポートセンターまでご連絡ください。

症状	原因および対策
電源が入らない スイッチの LED が点灯しない	・専用センサーハーネスのコネクタ挿入方向の間違いや接続間違いをしていませんか？ ・各部のコネクターはしっかりと奥まで挿し込まれていますか？
電源が切れない スイッチの LED が消灯しない	・一部車両ではエンジンを停止（IG-OFF）しても、 センサーの電源が切れないため、 スイッチの LED がしばらく点いた状態になる場合があります。 本製品はアクセルポジションセンサーに電源が供給されていると電源が入った状態になりますので、 スイッチ LED が点灯した状態になります。 本製品の故障ではありません。 車両のカギをロックして、 しばらく経過するとスイッチ LED は消灯します。
ドアを開けるとスイッチ LED が点灯する	・一部車両ではスマートキーを持った状態で車両に近づく、 または車両のドアを開閉することで、センサーに電源が自動的に供給されます。 本製品はアクセルポジションセンサーに電源が供給されると電源が入りますので、 スイッチ LED が点灯する場合があります。 本製品の故障ではありません。
アイドリング不調	・初期設定が正常に行われていない可能性があります。 再度初期設定を行ってください。 ・取り付け作業時にバッテリーを外した場合、 アイドリング学習が必要な場合があります。 一度専用センサーハーネスを取り外し、 アイドリング学習を行ってから再度取り付けてください。 アイドリング学習の方法については販売店もしくはカーディーラーにお問い合わせください。
エンジン不調	・初期設定が正常に行われていない可能性があります。 再度初期設定を行ってください。 ・専用センサーハーネスのコネクタ挿入方向の間違いや接続間違いをしていませんか？
エンジンまたはハイブリッドのチェックランプが点灯	・エンジン停止（IG-OFF）後、 15 分以内にアクセルポジションセンサーのコネクターを抜く、またはスマートキーを車両から遠ざけない状態でコネクターを抜いていませんか？ ・初期設定が正常に行われていない可能性があります。 再度初期設定を行ってください。 ・専用センサーハーネスのコネクタ挿入方向の間違いや接続間違いをしていませんか？
キックダウンしづらい シフトポイントが変化した	・本製品は実際にアクセルペダルを踏んでいる状態よりも、 擬似的に踏んでいない（ECO 時）、または踏んでいる（ECO 以外）状態を作り出しています。 車両によってはアクセルの踏み込みによるキックダウンのタイミングやシフトアップ、 シフトダウンのタイミングが純正状態とは異なる場合があります。 本製品の故障ではありません。 乗りづらいと感じる場合には極力低比率のモードを選択することをお勧めします。

⚠ チェックランプ消灯方法 ⚠

・作業ミス等でエンジンまたはハイブリッドのチェックランプが点灯した場合は下記手順でチェックランプの消灯を試みてください。

① アクセルハーネスを取り外し、車両を純正に戻した状態で、エンジンの始動と停止を数回繰り返す。
（この操作によってチェックランプが消灯しても、点灯した履歴はECUに残っています。）

② ①の操作を行っても消灯しなかった場合、バッテリーのマイナス端子を5分程度外して、戻す。

③ ①および②の操作を行ってもチェックランプが消灯しない場合は、販売店やカーディーラーにて故障診断機を使用して消灯させてください。

保証規定とカスタマー登録

本製品には製品保証を設けております。
製品保証を受けるためには下記カスタマー登録が必要になります。

保証内容について

- 弊社の製品保証は、保証書に記載されたお客様、製品期間、保証規定に基づいて、本製品が正常なご使用状態で製造上の原因による故障が生じた場合には、弊社による製品の無償保証をお約束するものです。したがってカスタマー登録後、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
  また、いずれかひとつでも保障規定の免責事項に該当する場合は、保証期間内であっても保証対象外となりますので、予めご了承ください。
- 弊社は印刷物の内容に万全を期しておりますが、万が一、印刷の誤りなどがあった場合には、弊社は一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。
- 弊社は必要とみなした場合に予告なしに保証規定を改定する権利を有しております。当規定において保証内容の変更があった場合、改定後の保証内容に基づいて保証させて頂きます。
- 本製品が原因で生じた傷害（車両トラブル、その他の事故一切）や自動車が使用できなかったことによる損失などにつきましては、一切の保証は致しかねます。また、その際に発生するすべての費用（脱着工賃、関連作業工賃、送料・関連して生じた直接および間接の損失、損害）につきましても、弊社では一切責任を負いかねますので予めご了承ください。

カスタマー登録について

お買い上げいただいたお客様に弊社規定に基づいた製品保証を提供させていただくために
「カスタマー登録」をお願い致します。
下記 Web サイトよりオンライン上で簡単に登録が可能ですので、必ずご登録をお願い致します。
パソコンをお持ちでないお客様は弊社サポートセンター（0422-60-2277）までお問い合わせください。
尚、カスタマー登録されていない場合、保証期間内であっても保証対象外となりますので、
ご注意ください。

http://www.blitz.co.jp/support/registration/registration.html

株式会社ブリッツ（以下「当社」といいます）はお客様からお預かりした個人情報の保護は
きわめて重要なことと認識しており、関係法令および規範を厳守し、以下の個人情報保護を定め
確実な履行に努めてまいります。

- 当社では、お客様へのサービスの充実や製品の品質向上、また採用活動のため、必要な範囲でお客様の個人情報を収集することがあります。収集するにあたっては、できる限り目的を限定し、お客様の同意を得たうえで適切な方法で収集いたします。
- 当社は、お客様の個人情報を、お客様の同意なしに義務委託先以外の第三者に提供することはありません。ただし、法令により開示を求められた場合、または裁判所・警察等の公的機関から開示を求められた場合はその限りではありません。
- お客様自身のお申し込みがあった場合、情報の開示・訂正・削除を速やかに行います。

製品に関するお問い合わせ
http://www.blitz.co.jp/
□連絡先　ブリッツ サポートセンター
□住　所　〒202-0023 東京都西東京市新町 4-7-6
□T E L　0422－60－2277

15910-001-251016